

農協だより

JAくしろあおた

2018 **11**
No. 12



JA釧路太田創立70周年記念 組合員旅行 世界文化遺産厳島神社参拝記念



山口 萩本陣からの夕日

index 目次

- JAトピックス
 - JA釧路太田創立70周年記念 組合員旅行 2
 - デントコーンサイレーン調整作業終了 6
 - よつ葉乳業根釧工場長杯パークゴルフ大会 7
 - 釧路太田肉牛同志会親睦パークゴルフ大会
- 女性部通信 8
- 農協法配布記念日にあたっての
 組合員・役職員へのメッセージ 10
- JAグループ通信 11
- 営農ホットライン 12
- 理事会報告・11月の行事予定 13
- みんなの広場・編集後記 14

 **釧路太田農業協同組合**

■発行：厚岸郡厚岸町太田5の通り19番地1 TEL.0153-52-7151
■発行日：平成30年11月1日 ■編集：金融課 ■印刷所：(有)厚岸印刷



←JA釧路太田オフィシャルウェブサイト
www.ja-kushiroota.or.jp/

ja 釧路太田





山口県：日本三名塔 瑠璃光寺五重塔にて

JA釧路太田創立70周年記念 組合員旅行

～ 広島・津和野・萩を巡る4日間の旅 ～

平成30年10月16日(火)～19日(金)の3泊4日で、組合員旅行に行ってきました。今回は、広島から山口県を中心に河村組合長を団長に男性12名・女性10名総勢22名の参加により、とても賑やかな旅行となりました。

釧路空港、9時55分発の飛行機に乗り、羽田空港経由で広島空港に14時40分に到着後、中型バスに乗り広島市内へ向かいました。車窓から広島城を眺めながら、世界遺産の原爆ドームのある平和記念公園に到着しました。爆心地から約160mという至近距離で被爆した『原爆ドーム』は、爆風と熱線で大破し全焼しました。

『平和記念公園』では、平和の鐘や原爆の子の像、原爆死没者慰霊碑などを散策後、広島平和記念資料館を見学しました。館内には、多くの外国人も見学されており、被爆前から原爆投下による惨状や復興までの歩みを学ぶことができ、「平和とは何か」について考えさせられました。

その後、宮島口にある「安芸グランドホテル」に到着し、広島の特産や穴子に舌鼓を打ち、温泉にゆっくり浸かり、飛行機の長旅の疲れを癒すことができました。



原爆ドーム



原爆死没者慰霊碑

1日目

2日目



岩国市内を一望



岩国城



大鳥居は干潮でした



錦帯橋



厳島神社



ばれている『獺祭』を醸造している旭酒造(株)へお邪魔しましたが、西日本豪雨により被害を受けられ、事務所の一部に若干の日本酒や焼酎が販

ホテルを出発後、宮島口よりフェリーに乗船し日本三景・世界遺産の『安芸の宮島』へ渡りました。今回は干潮により、海に浮かぶ大鳥居は見ることはできませんでしたが、近くまで散策している人が大勢おりました。『厳島神社』は平清盛により現在の姿に造営され、平家の繁栄をしのばせる優美な社殿でありました。島では餌付けされた鹿たちが記念写真におさまるなど慣れており、農業では厄介者の鹿ですが、観光地では人気者でした。そのあとは、表参道商店街で名物の「もみじまんじゅう」を食べたり、たくさんのお土産を買っていました。

その後は、バスで山口県岩国市に向かい、木造5連アーチ橋であり日本三名橋の一つである錦帯橋の周辺を散策しました。『錦帯橋』は総工費26億6千万円で、平成16年に4代目として架け替えられた木製の橋で、その技術を継ぐものは数が少なくなってきたとのことでした。吉香公園からロープウェイに乗り近世の山城である『岩国城』より、岩国市内を一望することができました。

温泉宿へ直行の予定を変更し、ミステリーツアー第1弾として、日本酒ランキング一位に選ばれている『獺祭』を醸造している旭酒造(株)へお邪魔しましたが、西日本豪雨により被害を受けられ、事務所の一部に若干の日本酒や焼酎が販

3日目

売されておりました。

バスは一路、山陽路で随一の温泉街のある湯田温泉へと向かいました。

『湯田温泉』は、白狐が発見した温泉で、山口市内の中心にある「ユウベルホテル松政」へ到着し、ゆつくり温泉に浸かり、ご当地の瓦そばや河豚料理を堪能できました。



船方農場グループ



津和野



瑠璃光寺の五重塔



カトリック教会



太鼓谷 稲成神社



松下村塾



松陰神社

8時30分にホテルを出発して、日本三大五重塔がある国宝『瑠璃光寺五重塔』周辺を散策し、その後、近隣にある常栄寺と美しい日本庭園の『雪舟庭』を見学しました。

バスは、山口市内をあとに、津和野町へ向かいましたが、第2弾として、「0円リゾート」として地域が誇る『船方農場グループ』に寄り道して、低温殺菌牛乳を試飲することができました。

その後、異文化が調和した城下町である津和野で、石州和紙漉きを見学し、石畳の殿町通り沿いにはカトリック教会や武家屋敷などが立ち

並び、掘割（水路）には昭和初期から放流された鯉が泳いでおりました。その大きさは1mを超えるものもいるそうで、掘割には2万匹以上が泳いでいるとのことでした。（エサは観光客が与えるとのこと）

第3弾として、日本五大稻荷神社にも数えられる『太鼓谷稲成神社』へ向かい、境内からは津和野の街並みを一望することができました。全国で唯一願いがかなうということで「稲成」と表記される珍しい神社で、商売繁盛の神様が祀られており、酪農家の皆さんは経営が順調に行くように手を合わせていました。

その後、バスは山口県萩市に向かい、明日の予定である指月公園や萩城跡は散策が多いため車窓から眺めることに変更し、萩市内の老舗である『村田蒲鉾店』で蒲鉾の試食をして、買い物を楽しみました。

買い物後は「維新の父」ともいうべき吉田松陰を祭神として祀る『松陰神社』や、高杉晋作や伊藤博文などを輩出した『松下村塾』を散策しました。

第4弾では、有名な夏みかんを使ったお菓子やジュースを製造している『柚子屋本店』を訪れ、柚子や夏みかんなどの美味しいお土産を買い、日本夕日百景にも選ばれる、萩の夕日を見ながらホテルへ向かいました。

萩の高台にある「萩本陣」では、真ふぐ料理やあまだいの刺身、見蘭牛など萩のグルメを堪能しました。萩自慢の温泉宿で、風情あるたぐさんの露天風呂で3日目の疲れを癒しました。

4日目



萩城窯陶煏工房



日本一のカルスト台地 秋吉台

ホテルを出発し、市内にある『萩焼会館』の窯元でろくろによる湯呑み実演を見学して、館内では萩焼の湯呑み茶碗やコーヒーカップなどを手に取り、お気に入りの器を見つけていました。

第5弾として、道の駅『萩シーマート』に立ち寄り、山口県で最後の買い物を楽しみ、萩市をあとに、一路空港へ向かう予定でしたが、最後のサプライズとして、秋吉台スカイラインを通り日本最大のカルスト台地を眺めながら、秋吉台の望観園で白い石灰岩柱なども一望することができました。

その後、バスは宇部山口空港へ到着し、12時55分発の飛行機へ搭乗し、本州最西端の山口県をあとにしました。羽田空港を経由し、釧路空港に17時55分に無事到着して、大型バスで帰路につきました。

今回の70周年記念旅行は、4日間とも天気に恵まれ、楽しい旅行となりました。

旅行に参加された皆さま大変お疲れさまでした。皆さまのアンケートをもとに、来年も楽しいツアーを企画したいと思っております。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。



原爆死没者慰霊碑前にて



岩国城へ足どりも軽やか



フェリー船にて



広島での夕食



岩国城天守閣にて



錦帯橋にて



船方農場で牛乳をゴクリ



津和野で食後のアイスクリーム



石州和紙漉き



丸々と太った錦鯉



山口での夕食



デントコーンサイレージ調整作業終了

「台風も心配されたが倒伏せず」



10月上旬、台風24号が北海道東部に上陸することも心配される中、平成30年9月28日にデントコーンを栽培する16戸の農家の収量調査を行いました。



収量調査は普及センターをはじめホクレンやパイオニア・雪印種苗など関係者12名で、各農家で1圃場を対象に収量調査を行いました。

熊による被害もあったようで、調査もクマ撃退スプレーを片手に圃場に入りましたが、調査結果としては熟期については乳熟中期から糊熟中期がほとんどで例年より熟度も遅く、乾物収量は1055(kg/10a)と平年値の75・2%ほどの結果となりました。

今年には台風が何度も道東地方に接近する予想でしたが、大きな倒伏などの被害を受けることなく、9月29日よりデントコーンサイレージ調整が始まりました。台風24号の接近も大事には至らず、10月10日をもって15戸・230haほどの収穫作業が無事終了しました。

今年の1番草をはじめとする粗飼料収穫が、大幅に天候に左右された1年ではありましたが、デントコーンについては収量が70～80%程度と不作ではありませんでしたが、倒伏せず収穫できたことは救いのひとつでないかと思っております。組合員の皆さまをはじめコントラ作業に携わったすべての方々に対し、厚くお礼申し上げます。本当にありがとうございます。

これからの農作業も安全に配慮され怪我の無いようにご注意ください。



金融課通信

北海道!!
 がんばろう

当

抽選で
 全道合計
5,000名様に
 当たる!

ドドンと当たる

JAバンク北海道 11/1▶12/28

期間中、定期貯金・定期積金を一定条件のお預入で、各種お取引をご利用中のお客さまに、抽選で北海道のおいしさをドドンとプレゼント!

A賞
 200名様

お肉orお米をドドン!



北海道産肉詰合わせ3kg(牛・豚)
 [20,000円相当]

北海道産米1俵(60kg)
 [25,000円相当]

全道JA特産品カタログギフトからドドン!

B賞
 500名様
 お好きなJA特産品
2品[7,000円相当]

C賞
 1,000名様
 お好きなJA特産品
1品[3,500円相当]

Wチャンス

各賞に外れた方の中から抽選で3,300名様
 におすすめのJA特産品1品(3,500円相当)または
 農協全国商品券(2,000円分)ご希望のどちらかをプレゼントします。

さらに先着で kippis × CHORIS
 オリジナルマルチケース
 プレゼント!

詳しくは店頭またはWebで
<http://www.jabank-dodoo2018.jp/>

JAバンク北海道

JAバンク北海道
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

よつ葉乳業(株)根釧工場長杯パークゴルフ大会

平成30年10月11日(木)、9時30分より、太田農村公園パークゴルフ場にてよつ葉乳業(株)根釧工場長杯パークゴルフ大会が開催されました。

大会当日の朝は小雨が降っており開催も危ぶまれましたが、参加者の皆様の日頃の精進のおかげで、スタート時には雨も止み、無事に開催することが出来ました。

よつ葉乳業からは広瀬係長に参加頂き、総勢29名に参加して頂きました。プレーの結果は、

男性の部 永堀 善道 さん
 女性の部 石鳥谷 ゆかり さん

が優勝されました。プレー後は昼食を取りながら大会の表彰式を行い、大いに盛り上がりました。

よつ葉乳業広瀬係長も「地域の方と触れあうことが出来、非常に有意義な一日でした。」と喜んでおられました。

※優勝賞品についてよつ葉乳業様よりご提供頂きました。



釧路太田肉牛同志会親睦パークゴルフ大会

平成30年10月13日(土)、9時30分より、太田農村公園パークゴルフ場にて、肉牛同志会主催による親睦パークゴルフ大会が開催されました。

大会当日は、天候に恵まれ、絶好のパークゴルフ日和となりました。役員をはじめ、会員や家族の方々総勢24名が参加され、最後まで楽しくプレーすることができました。

プレーの結果は、

男性の部 森 一昭 さん
 女性の部 永堀 道子 さん

が優勝されましたが、非常に僅差によるスコアとなりました。

その後、M&M夢工房の焼肉ハウスで、焼肉を食べながら、会員相互の親睦が深められた楽しい1日になりました。



女性部消費拡大運動

「パルシステム埼玉」



平成30年9月17日(日)、埼玉県春日部市「ふれあいキユーブ」にてパルシステム埼玉の商品展示会が開催され、JA鉦路太田女性部から3名、事務局2名も参加して、乳製品の消費拡大運動を行いました。

運動の内容としては、ホクレンブースの一角で、よつ葉乳業(株)で製造された「こんせん72牛乳」の試飲やほかの牛乳との飲み比べを行ったり、こんせん72牛乳を原料とした「こんせんプレーンヨーグルト」や、よつ葉「シユレツドチーズ」をパンにのせたチーズトーストの試食なども行ない、同時に乳製品のPR資材を来場者に配布させていただきました。

ブース内では、模擬牛を使用した搾乳体験コーナーや、パルシステム組合員の方々より、北海道の生産者へ向けたメッセージの寄せ書きコーナーを設けるなど、子供も大人もたくさんの方で賑わっていました。

また、参加した女性部のみなさんも、試飲や試食をもらう中で、消費者の方々や酪農や牛乳の話をする事で、お互いのニーズも分かり合うことができ満足している様子でありました。

特に、9月6日未明に発生した北海道胆振東部地震の影響での停電に対する心配や、酪農場を応援するたくさんの方の言葉をいただき、「やっぱり北海道の牛乳はおいしくて、子ども達も楽しみにしています。これから大変になるのかもしれないませんが、頑張って下さい。」と励ましの言葉を聞いた際には、改めて生産者としての自覚と責任を持ち、これからの生乳生産に携わり、安全で安心な美味しい牛乳を食卓に届けなければならぬと、再認識することができました。

このあと、11月24日(土)にもパルシステム神奈川との消費者交流会も予定しておりますので、また、消費者の方々に会えるのを楽しみに頑張りたいと思っております。



フレッシュユミズ部会

酪農勉強会

チーズ作り



平成30年10月5日(金)、フレッシュ部員が11名参加し、ひがし農業共済組合厚岸診療所の獣医である藤田氏を講師に招き、乳牛の繁殖等についての勉強会を行いました。

今は子育て中で、なかなか搾乳などの仕事に携わる時間が少なく、子どもから手が離れ自分たちが中心になっていくことも踏まえ、今から少しでも農業に関する知識を深めようと発案し、勉強会では繁殖管理の重要性や繁殖の見つけ方など多くのことを学べ、とても参考になった様子でした。

また、10月9日(火)には、石澤牧場内にあるチーズ工房「なんくる」にて、フレッシュ部員9名、酪農実習生1名が参加して、毎年恒例のチーズ



秋の日帰り視察研修

平成30年10月11日(木)、標茶町中茶安別にある長坂牧場へ、女性部15名、事務局2名で視察に行ってきました。長坂牧場は、平成22年からフリーバーン（発酵牛床）による牛舎を新築し、乳牛の快適性や菌との共存、

作り体験を行ないました。

酪農家として毎日出荷している生乳を使い、自らがストリングチーズなどの加工体験をすることで、食の大切さを再認識するとともに、できあがったチーズを各家庭で、美味しくいただけることをうれしく思っています。これからも、継続的にチーズ作りを行ない、いろいろなチーズや乳製品加工を行なっていきたいと考えております。

昼食には、ジャイアントでちよつと贅沢にランチプレート注文して、みんなで美味しくいただき、会話も弾み楽しい一日を過ごすことが出来ました。

発酵による臭気軽減などを目標として経営を行なっておりました。

牛の快適性を保つことで、日々のストレスを軽減させ、健康を保つことで、粗飼料などの経費削減にも繋がるだけではなく、菌との共存を目標とすることで、菌に対する免疫力を高める事ができ、乳房炎の牛も減多になくなるなど、目に見える結果も出ており、非常にやり甲斐を感じている様子でありました。

実際に牛舎内も視察させていただき、ふん尿の匂いが全くしないことにも驚きました。

また、環境への取組としては、自力施工で浄化槽を設置し、パーラー内の洗浄水として再利用しているとのことでした。

また、地熱交換システム（リブクールシステム）を取り入れており、外気は地下の配管を通して室内に入れることにより、夏は涼しく、冬は暖かい空気になるため、光熱費削減はもちろんです。冬期間のパーラー内の凍結防止にも非常に役立っているとのことでした。

また、6次化産業にも積極的に取り組んでおり、6種類ほどのチーズを数量限定で販売しており、部員のみならずも視察後にたくさん購入しておりました。

昼食は、ホテル・テレーノ気仙にてお



弁当を食べ、日帰り入浴で体も温まり、今年の日帰り視察研修も無事終了しました。

来年の視察先については、これから検討していきますが、部員のみならず耳寄り情報がありましたら、視察先の候補として参考にさせていただきますので、是非事務局までご一報願います！



農協法配布記念日にあたっての 組合員・役職員へのメッセージ



北海道農業協同組合中央会

会長 飛田 稔 章

このたびの災害により被害を受けられた皆様ならびにそのご家族の皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧・復興へ向けて、JAグループ北海道は組織を挙げて全力で支援に取り組んでまいります。

さて、昭和22年11月19日に農業協同組合法（農協法）が公布され、今年で71年を迎えました。

戦後の食糧不足の混乱期に、農業者の協同組織の発達を通じ、「農業生産力の増進」と「農業者の経済的社会的地位の向上」を図り、国民経済の発展に寄与することを目的として、農協法が制定され、農協が設立されました。

農協は「農業者による農業者のための組織」であり、協同組合原則に掲げる「自主・自立」「民主的運営」の基本に立ち、相互扶助の精神のもと、幾多の困難な状況を乗り越え、組合員の皆様の営農と生活の安定並びにより良い地域社会の実現を目指し、総合事業を展開しながら今日に至っております。

例えば安全・安心な食品の生産と、豊かな生活に役立つ購買品の供給、地域の豊かな暮らしと経済活動のために寄与する金融事業、総合的な暮らしの保障のための共済事業、健康な日常生活を営むための医療・福祉事業のほか、地域社会に貢献するための様々な社会的取組みも行なわれております。

地震や風水害による大規模災害が発生した際には、各協同組合が物資の支援、ボランティアの派遣、募金活動等を展開することにより、被災地域の復旧・復興支援に大きな役割を果たしております。

本年9月の災害時にも、組合員・JA・連合会等の間における農業機械・発電機等の融通や、被災地への人的・物的支援、被災地農産物の選果受入など、組織内・外を問わない助け合いの精神による支援活動・行動に対し、敬意とともに、協同組合の力を改めて認識させて頂いたところであります。

このように協同組合は社会と地域の人々の暮らしのために、永年に亘って多くの分野でその役割を發揮してきています。

そのような中、2016年に「協同組合の思想と実践」がユネスコ無形文化遺産に登録され、更に本年4月には、我が国の農協、漁協、生協、労働金庫、森林組合等の協同組合が、協同組合間の連携によって力を結集し、地域課題の解決を目的として日本協同組合連携機構（JCA）が発足したところです。

また、第29回JA北海道大会では、前回大会で設定した将来ビジョンである「北海道550万人と共に創る『力強い農業』と『豊かな魅力ある農村』の実現」を継承し、「農業所得の増大と、多様な担い手の確保・育成」と「次代につなげる協同組合の価値と実践」に向けて、JAグループが一体となって取組むことと致しました。

農業協同組合に集う組合員、役職員の皆様は、このように世界的に評価され、社会的意義のある協同組合の仲間であることを誇りとしながら、協同活動の輪（食と農でつながるサポーター550万人づくり）を広げて頂きたいと考えております。

このことが新自由主義経済への対立軸としての協同組合の存在意義を高め、永年に亘り先人が築き上げた地域農業並びに地域社会の基盤をさらに発展させ、持続可能な農業へと繋がるものと確信しております。

最後になりますが、JAグループ北海道は、協同組合の理念と精神を事業の拠り所とし、今後とも組合員の皆様は夢と希望を持って営農と生活が続けられる環境を整えること、地域農業とJAの発展に全力でサポートすることをお誓い申し上げます。農協法公布記念日にあたってのメッセージと致します。

毎月、JAグループ北海道の連合会・中央会の活動を紹介しております。今月は、平成30年9月29日に北海道コンサドーレ札幌ホームゲーム（vsサガン鳥栖戦）をJAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しましたので、会場での各取り組みをご紹介します。

* JAグループ北海道は、北海道コンサドーレ札幌とともに、スポーツを通じてたくさんの皆さまに食や農業の大切さを伝える活動を行っています。

9月29日のサガン鳥栖戦は、JAグループ北海道と北海道コンサドーレ札幌による『北海道応援マッチ』として開催しました。

JA北海道中央会



来場者に全道各地のJA特産品を550名様にプレゼントする企画や、JAグループ関係のブースを回るスタンラリー抽選会、「JA2MP」チェックインキャンペーンを実施しました。試合はコンサドーレの劇的な勝利に終わり、JAグループ北海道よりMVP賞の贈呈を行いました。

チームのさらなる活躍を期待し今後も北海道を共に盛り上げるパートナーとして応援して参ります。



JA北海道信連



JAバンク北海道では、会場で「口座開設を予約して頂いた方」に抽選でコンサドーレ観戦券またはコンサドーレ・オリジナルマフラーを、「ちよリスと一緒に撮影し、SNSに投稿して頂いた方」にちよリス・ブランケットをプレゼントしました。小野伸二選手も応援に駆け付け大盛況となり、多くのコンサドーレサポーターの方にJAバンクをPRすることができました。



ホクレン



ホクレンは来場者先着20000人に顆粒片栗粉「とろりんぱっ」を配布したほか、「ホクレン大収穫祭」の告知及び全国発送のチラシを配布し、来場者に対してPRを行いました。ブースには北海道コンサドーレ札幌の田中雄大選手、藤村怜選手、クラブマスケットの「ドレくん」が相次いで応援に駆け付け、配布を手伝うとともに、快く握手などに応じ、集まったサポーターたちを喜ばせました。



JA共済連北海道



JA共済連北海道は、地域貢献活動の紹介チラシを作成し、粗品とあわせて配布することで、交通安全を呼びかけました。また、小さいお子さまには、ひとのわぐマのおなかを的にし、ボールを投げただくゲームで楽しんでいただき、大盛況となりました。来場者の皆さまにJA共済連の交通安全にかかる活動を知っていただくことができました。

JA北海道厚生連



JA北海道厚生連からは配置薬課より「野菜酵素青汁」と「草筍譜Ⅲ(入食材)」の配布を行い、稲本選手もブースにかけつけてくださり、多くのサポーターの皆様に集まっていた大盛況となりました。今後も北海道コンサドーレ札幌の活躍を応援していきたいと思っております。



ガンバレ!
コンサドーレ!





営農計画作成にあたって

今年も営農計画作成が近づいています。営農計画の作成にあたっては、基本的な次の事項に留意しながら事前準備し、作成に取り組みましょう。

ステップ1 過去の組勘データ等から自分の経営状況を把握

- (1) 年次（過去5年以上）によって各勘定科目に「バラツキ」がありますか？
例）年ごとで、生乳収入金額にバラツキがありました。
- (2) バラツキの「原因」を把握していますか？
例）年ごとで、生乳出荷乳量が大きく変化していました。
- (3) バラツキの原因は「解決」すべきですか？
例）毎月の「搾乳頭数」等のバラツキを少なくする必要がありました。
- (4) 原因を解決すべき「対策」はありますか？
例）繁殖管理改善（空胎日数の短縮等）が対策になりました。また、この改善に伴い費用が発生する場合には、費用を計上しましょう。
- (5) 対策することで「改善」が図られますか？
例）改善されると判断できた場合には、営農計画に数字を反映させましょう。

ステップ2 当年の必要とされる収益は？

- (1) 家計費及び資金準備
家族構成からライフサイクル（10年以上の長期）を考慮したうえで、当年の必要とされる家計費を家族内で協議し、算出しましょう。また、ライフサイクルに伴い必要とされる資金（学費、住宅、医療等）の積立もしましょう。
- (2) 償還額
当年の償還額を事前に把握しておきましょう。
以上「家計費及び資金準備 + 償還額 = 当年の必要とされる収益」になります。
- (3) 投資額
現在の機械施設の耐用年数及び状況と10年以上の長期計画に基づき、投資に伴う年間の償還金額を考慮し、家族内で協議したうえで、投資額を算出しましょう。

ステップ3 「ステップ1と2」に基づき各勘定科目の計画作成

「収支バランス」を考慮し、各勘定科目の計画を作成しましょう。

ステップ4 作成した営農計画の妥当性を再度確認

作成した営農計画の「妥当性」を再度家族内で確認しましょう。

家族の笑顔のためにも「生産第一」より、まず「安全第一」

■お問い合わせ先／普及センター東部支所 TEL.0153-65-2021

第7回 理事会報告

平成30年9月25日(火)

報告事項

1. 平成30年9月上旬現在の生乳生産状況及び8月末クミカン取引状況について

	当農協	釧路管内	全道
9月上旬	98.7%	102.5%	83.9%
累計	97.7%	96.9%	101.4%

2. 監事監査の結果について
3. JA全国監査機構の一般監査の結果について
4. 新・農業人フェア(東京池袋会場)の結果について
5. 平成30年度JA共済コンプライアンス点検結果について
6. 組合員の加入について
正組合員 2名加入
7. 新規就農者の取り進めについて

議決事項

1. 各種貸付金の貸付承認について
営農資金 5件 生活資金 2件
2. 「第29回JA北海道大会」組合員組織討議について
3. コンプライアンス規程及びコンプライアンスマニュアルの一部改正について
4. 生乳受託販売規程の一部改正について
5. 災害対策について
停電・断水時対応の体制マニュアル作成に向け営農委員会で詳細協議

JAくしのおおち

11月
平成30年

行事予定

1(木)	一般市場		釧路酪農チャレンジ60
2(金)	村山市訪問「厚岸味覚市」(~5日)	15(木)	「946運動」グット・Dry協議会
3(土)	文化の日		一般市場
5(月)	海外肥料視察研修(~10日)	20(火)	紳士服展示会(~21日)
6(火)	酪農実習生受入協議会 スポーツ交流会		乳牛市場
7(水)	別寒辺牛・ホマカイ川流域環境保全協議会実態調査	21(水)	Aコープ特売
	Aコープ特売	22(木)	第9回理事会(~22日)
8(木)	職員道外視察研修(~11日)		一般市場(初生トクのみ)
	一般市場	23(金)	勤労感謝の日
	農協役員視察研修(~15日)		Aコープ特売
12(月)	内部審査(~16日)	28(水)	weicomeデイリー運動「酪農学園大学講演会」
	育成市場		アグリフードプロジェクト参加(札幌~29日)
13(火)	第29回JA北海道大会	29(木)	一般市場
	生乳受託販売委員会等	30(金)	地区別懇談会(~12月1日予定)
14(水)	酪農試験場フォーラム(道総研酪農試験場)		
	Aコープ特売		

読者のベストショット



撮影者／片無去のプロカメラマン？



結婚式で行ったホテルの中庭でステキなイルミネーションを発見!!
撮影者／Y.K

先月の停電時には、職員の皆様には大変お世話になりました。本当にありがとうございました。そして発電機を貸し出して頂いた農家の皆様に感謝します。ありがとうございました。職員の皆様にはこれからも多々お世話になると思いますが、今後もよろしくお願い致します。大変でしたね停電。酪農祭もご苦労様でした。

(ペンネーム/pun)

秋の夜長、澄みわたる太田の星空は格別ですね。

(ペンネーム/コンサ大好き親父)

いつも楽しみにしています。いろんな情報がとてもわかりやすく、とても読みやすいです。

(ペンネーム/まめすけ)

10月号のまちがいさがしの解答

- 2 落ち葉が違う 4 鳥の数が少ない
5 犬の耳が上がっている 7 ワッペンが文字が違う
12 おたまの持ち手が長い

10月号の当選者は5名です。おめでとうございます。当選者にはJAより連絡致します。

記事・写真・イラストなど

大募集!!

身近で起きた出来事やベストショット写真、JAに対するご意見・ご要望など、読者の皆様からのご応募お待ちしております。

別紙の応募用紙に氏名・住所・電話番号を記入して、JA釧路太田事務所・Aコープおおた店・ホクレン太田・尾幌スタンド・酪農支援センターにある応募箱に投函してください。

編集後記

木々の葉が黄色や赤に色づき、肌寒い日が増えてきました。スーパーへ買い物に行くと、リンゴや梨、ブドウなどが並んでいて秋だなと感じる今日この頃です。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋とよく言われますが、皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？ 沢山食べ、沢山身体を動かし、北海道の長い冬に備えて英気を養いましょう！

11月7日は立冬という事で、暦の上では冬になるそうです。冬がすぐそこまで来ていますね。皆さんは冬支度をしましたか？ 早めの冬支度をして体調を崩さないように気を付けましょう！

編集担当/N.E

